

# 市政ホット ニュース

hot news!



外壁に白石区の花である「バラ」がデザインされている白石清掃工場

hot news

## 関東以北最大級の清掃工場が 12月から本格稼働

●ごみ処理容量最大900トンの白石清掃工場  
灰溶融施設では焼却灰の容積を半分以上に

今年六月から試運転を続けてきた白石清掃工場（白石区東米里二一七〇）が、十二月から本格稼働します。この工場は、発寒第二清掃工場と厚別清掃工場の老朽化や、今後予想される人口増加への対応から建設を進めてきたものです。

一日当たりのごみ焼却能力は、三つある焼却炉を最大限に稼働した場合で九百トと、関東以北最大級。ごみ量の変動に合わせた対応ができ、安定したごみ処理体制が確保されます。また、ダイオキシンなどの対策には、高度な公害防止技術を導入し、万全を期しています。

施設面での大きな特徴は、市内で初めて併設された灰溶融施設です。ここでは、焼却した後に残った灰を、高温で溶かし、金属類とスラグ（ガラス状の固形物）に分けて排

出します。焼却後そのまま埋め立てられる灰の容積が半分以上となり、埋め立て地の延命を図ることができます。スラグは道路の路盤材や、セメントの原料として利用することを検討しており、リサイクルの推進が期待されます。

このほか、焼却余熱を有効活用する自家発電設備を設置。最大三万キロワットの電力を発生させることができます。灰溶融施設を含む工場内の電力を賄え、残りの電力は電力会社へ売る予定です。

発寒第二清掃工場と厚別清掃工場は、既に運転を停止しており、今後は、白石、発寒（西区）、駒岡（南区）、篠路（北区）の四つの清掃工場、市内全域の焼却ごみを受け入れていきます。

☎ [詳細](#) 清掃事業部施設管理課 (211) 2922